



2026 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 川口化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山 田 秀 行
(コード番号 4361 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役経理部長 本 間 義 隆
(TEL 048-222-8024)

2025 年 11 月期連結業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

2025 年 1 月 14 日に公表いたしました 2025 年 11 月期連結累計期間(2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)の連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025 年 11 月期連結業績予想数値と実績数値との差異

(2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,000	百万円 320	百万円 320	百万円 220	円 銭 180.71
実 績 数 値 (B)	8,814	426	404	298	245.11
増 減 額 (B - A)	△186	106	84	78	
増 減 率 (%)	△2.0	33.1	26.2	35.4	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 11 月期)	8,920	378	390	336	276.22

2. 差異の理由

当連結会計年度の事業環境は、日本では内需が堅調に推移したものの、外需は関税政策の影響を受け弱含みました。当社グループと関係の深い自動車産業では、上期は回復が進んだものの、下期は輸出環境の悪化により国内生産が前年を下回りました。

このような環境の下、汎用製品の需要は国内外ともに低調に推移いたしましたが、販売促進活動の効果もあり医療用ゴム製品や電子材料関連向け特殊受託合成製品などの高付加価値製品が堅調に伸びました。さらに、円安進行に伴う輸出採算の改善に加え、顧客需要を的確に捉えた生産・販売活動による在庫削減効果や株高による退職給付費用の軽減も寄与し、売上高は当初見込みに僅かに届きませんでした。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について当初見込みを上回ることとなりました。

以 上